

2012

築上町民文化祭 文化の秋、町を彩る

磨きぬいた技や表現、いくつもの個性が人の感性に訴える。多彩な展示、回を重ねるごとに深みを増すステージや催しの数々。今年も築上町のアーティストが大きな感動と拍手を呼びました。



11月2日～4日の3日間、今年も盛大に行われた築上町民文化祭。参加者それぞれが試行錯誤を重ねた成果を存分に発揮しました。開会式典では、しいだコミュニティ倶楽部健康ダンスの皆さんによる築上町音頭が披露され、華やかに文化祭の幕開けを飾りました。今年も、町民文化祭特別講演として元NHKアナウンサー杉山邦博さんによる講演会も行われました。テーマは「日本の心・抑制の美々大相撲などスポーツの現場から」。杉山さんは、長年スポーツの現場に携わってきた経験から、選手の生き様に日本の伝統的な美意識である「抑制の心」を感じたそうです。特に、大相撲における横綱は、「抑制の心」を強く持ち、力士の手本になるべき存在であるとのことでした。また、ステージ部門では、躍動感あふれる舞や演奏が繰り広げられ、演目が終わるたびに、観客から鳴り止まない拍手と歓声を受けました。展示部門・催し物部門は、日本の伝統文化から、色とりどりの絵画や陶芸、工芸という多種多様な作品が会場で彩り、来場者をそれぞれの世界へと引き込みました。

毎年、歌あり、踊りあり、華やかなステージや美しい作品の数々が築上町を彩る文化祭。たくさんの方の参加者の思いが込められた文化祭は、紅葉に染まり始めた町に彩りを添え、今年も訪れた人の心に焼きついたことでしょう。